

ここに残る景観資源発掘プロジェクト次回テーマについて

	眺望景観	にぎわい景観
① 概要（募集の理由）	<p>海から山まで連なる本市景観計画において、シンボル又はランドマークに位置づけている岸和田城や神於山などに象徴されるように、市内の地勢やまちなみを特徴づける眺望景観は、まちの魅力を再認識し、新たな価値の創出に期待できる。</p> <p>また、近景では気づかない景観要素を遠景で発掘することで、まちなみと調和した色彩や建物等の意匠への配慮に寄与することが期待される。</p>	<p>市内では、これまで培ってきた歴史や文化が感じられる様々な祭事や催しが行われており、多くの人々で賑わいを見せている。こうした賑わいは、まちの活力や地域のつながり、人々の営みを垣間見ることができる重要な景観要素である。</p> <p>このようににぎわい景観を再確認し、更なる発展と次世代への継承に寄与することが期待される。</p>
② イメージ写真 （募集時にポスター等で使用）		
③ 審査の対象となる景観資源 （実施要領第5条関係）	<p>まちなみやランドマークとの連続性が感じられるもの 山並みや海岸線など自然地形との関連性が感じられるもの まちの成り立ちや、遠景によるまちの広がりを感じられるもの 地域を特徴づけるまたは個性が感じられるもの</p>	<p>地域の営みや文化が感じられるもの 歴史や伝統を感じさせ、地域の賑わいを特徴づけるもの 暮らしや生活など人々の身近にあり、魅力的であると感じられるもの 四季折々の趣きがあり、賑わいや親しみが感じられるもの</p>
④ 景観上の視点と評価項目 （実施要領第7条関係）	<p>まちなみを象徴するランドマークとの連続性や調和が感じられる 地勢やまちの成り立ち、変化が感じられる 地形地物との関わりや人々の営みが感じられる まちの魅力や特性が感じられる</p>	<p>生活景として地域に馴染み、特徴づけている 人々が織りなす営みや賑わいが色濃く感じられる 地域の歴史や文化などを特徴づけている 郷土への懐かしさや親しみが感じられる</p>
⑤ 景観施策において 期待される効果	<p>まちなみのシンボルなどを明確にし、眺望景観に対する配慮への啓発 まちなみとの調和や、わがまちへの愛着と調和の創出 自然と共存してきたまちづくりへの継承</p>	<p>埋もれていた記憶の発掘と継承 歴史、文化、ふるさとなど、多面的な広がり まへの愛着と誇りの創出</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちなみ：7位(22.3%) （H30 まちかど審査におけるアンケートで上位） ・ 対象エリアや対象物件が限定されてしまう恐れ ・ 景観資源として評価する基準に懸念 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賑わい：9位(5.4%)、まちなみ：7位(22.3%)、歴史：3位(39.5%)、 （H30 まちかど審査におけるアンケートで上位） ・ 対象エリアが限定されてしまう恐れ ・ 期間が限定されてしまう恐れ